

別添 1

令和5年度 柔道部活動計画									
目標		(1) 望ましい心身の発達を図り、体力の向上と健康の保持増進をめざす。 (2) 一つの目標に向かって仲間が協力する中で、基本的な行動様式をはじめ、集団としての規律等の社会性を育てる。 (3) 部活動に意欲的に取り組ませることにより、個性を伸ばす。 (4) 部活動を通して、互いの心を汲み取り合い、深い人間理解に努める。 (5) 部活動で培った精神力や集中力などの力を、学習や家庭生活に生かす。							
月	行事等	1年	2年	3年	各期における生徒、顧問の活動概要				
					期	生徒	顧問		
4	前期始業式、入学式 身体測定、避難訓練 心臓検診、歯科検診	基礎準備期		完成期	基礎準備期	◎決められた安全のための約束事やマナーが守れる。 ○単独、対人の受け身ができる。 ○2種類以上の投げ技で打ち込みができる。 ○2種類以上の抑え技ができる。	◎柔道MINDを育む。 ○単独、対人の受け身の習熟の徹底		
5	引き渡訓練 体育祭、生徒総会 内科検診								
6	前期中間テスト 修学旅行、校外学習 市総合体育大会								
7	中央地区総合体育大会	基礎鍛錬期		専門準備期	基礎鍛錬期	◎相手への思いやりの行動、言動ができる。 ○その場で投げられて受け身ができる。 ○その場で投げることができる。	○打ち込みや投げ込みの仕方や安全の約束事の徹底		
8									
9	前期末テスト 市新人体育大会 生徒会役員選挙								
10	中央地区新人体育大会 前期終業式、後期始業式 県新人体育大会	基礎鍛錬期		試合期	専門準備期	◎指示を受けるだけでなく、自ら進んで稽古ができる。 ○乱取りで体勢を崩さず投げる ことができる。 ○乱取りで引き手を離さず相手を保護できる。	○乱取りができる筋力や持久力などの体力の養成		
11	校内合唱コンクール 文化祭、避難訓練 後期中間テスト								
12	学年末テスト								
1	避難訓練 スキー宿泊学習	基礎鍛錬期		専門鍛錬期	専門鍛錬期	○相手の技能程度に応じた乱取りができる。 ○立ち姿勢から寝技への移行ができる。 ○得意技、連絡技、変化技の習得	○周囲に配慮し安全を考えた行動の徹底		
2	学年末テスト								
3	卒業を祝う会、卒業式 修了式								
					完成期	○得意技、連絡技、変化技の精錬	試合期		